



議会 だより

No.67 2022年11月7日発行

おもな内容

令和4年第3回市議会定例会	～ P2 ～ P3
常任委員会審査報告	…… P4 ～ P5
一般質問	…… P6 ～ P11
常任委員会調査報告	…… P11
令和4年第2回市議会臨時会	～ P12 ～ P13
市民の声	…… P16
読者の声	…… P17
市議会クイズ、編集後記	…… P18



「未来につなぐ新幹線かもめ」

撮影：小川 秀喜 氏

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。
また、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き応募ができます。



こちらから応募できます

令和4年第3回議会定例会

会期:令和4年9月2日～9月30日(29日間)

定例会の概要

第3回定例会では、議案25件（報告6件、諮問1件含む）が提出されました。（3ページ参照）

議案のうち各常任委員会に付託された18議案（条例案・決算認定・補正予算案・その他議案）は各常任委員会において、慎重に審査されました。（4、5ページ参照）

各常任委員会の付託内訳

総務文教常任委員会：6件

産業建設常任委員会：4件

厚生常任委員会：6件

予算決算常任委員会：2件

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「教育現場におけるICT活用の先進事例について」、産業建設常任委員会から「人工衛星のデータを活用した水道管の漏水調査について」、「地域の森林資源の有効活用による林業活性化の取組みについて」、厚生常任委員会から「医療過疎地域における民間医療法人の救急医療の取組みについて」、「高齢者の外出支援対策として、ハンドル形電動車いす（シニアカー）等の購入費補助事業や貸与事業に取り組んでいる先進事例について」申出がありました。また、予算決算常任委員会から、「議案第46号令和3年度西海市一般会計決算認定について」台風11号接近に伴う審議及び審査日程の変更を考慮し、閉会中の継続審査とする申出があり、それぞれ決定されました。

《会期日程》

9月2日

開会

会議録署名議員の指名

会期の決定

諸報告

議案上程・提案理由説明

9月12日

一般質問（5人）

9月13日

一般質問（4人）

9月14日

委員会付託

委員会審査

（総務文教・産業建設・厚生）

9月20日

予算決算常任委員会

9月22日

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論・採決

9月30日

閉会



令和4年第3回議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	付託委員会等	議決の結果
報告第22号	令和3年度決算に係る健全化判断比率の報告について	本会議	報告済み
報告第23号	令和3年度決算に係る資金不足比率の報告について	本会議	報告済み
報告第24号	権利放棄の報告について	本会議	報告済み
報告第25号	株式会社大島町中央商店街振興公社令和4事業年度事業計画及び予算並びに令和3事業年度決算報告について	本会議	報告済み
報告第26号	一般財団法人西海市農業振興公社令和4事業年度事業計画及び予算並びに令和3事業年度決算報告について	本会議	報告済み
報告第27号	西海市立西彼図書館に勤務した会計年度任用職員の報酬に係る遅延損害金の額を定めることについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	本会議	支障なし
議案第42号	西海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第43号	西海市庁舎建設整備基金条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第44号	西海市過疎地域持続的発展計画の変更について	総務文教	原案可決
議案第45号	西海市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第46号	令和3年度西海市一般会計決算認定について	予算決算	継続審査
議案第47号	令和3年度西海市国民健康保険特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第48号	令和3年度西海市後期高齢者医療特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第49号	令和3年度西海市工業団地整備事業特別会計決算認定について	総務文教	認定
議案第50号	令和3年度西海市交通船特別会計決算認定について	総務文教	認定
議案第51号	令和3年度西海市介護保険特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第52号	令和3年度西海市水道事業会計決算の認定について	産業建設	認定
議案第53号	令和3年度西海市工業用水道事業会計決算の認定について	産業建設	認定
議案第54号	令和3年度西海市下水道事業会計決算の認定について	産業建設	認定
議案第55号	令和4年度西海市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	原案可決
議案第56号	令和4年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第57号	令和4年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）	総務文教	原案可決
議案第58号	令和4年度西海市介護保険特別会計補正予算（第2号）	厚生	原案可決
議案第59号	工事請負契約の締結について（森林基幹道西彼杵半島線災害復旧工事（3号箇所））	産業建設	原案可決

総務文教常任委員会

審査件数

条例案 2件
 決算認定案 2件
 補正予算案 1件
 その他議案 1件

主な審査内容

議案第42号 西海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 原案可決

この議案は、地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間拡大、非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和及び柔軟化について改正するものです。

質疑 対象となる非常勤職員に対し、当該改正についてどのように周知するのか。

答弁 大きな制度改正なので、国が出している制度に関するパンフレット等を参考にしながら、対象職員に広く行き届くよう周知に努めたい。

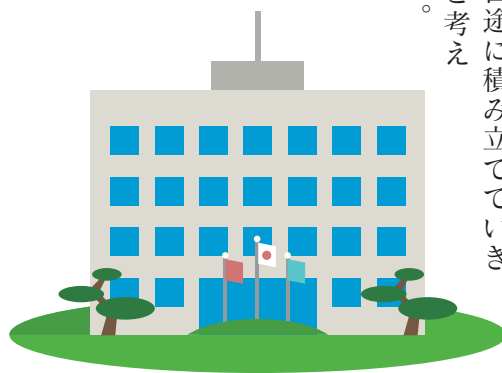
議案第43号 西海市庁舎建設整備基金条例の制定について
 原案可決

この議案は、市庁舎の建設整備に要する経費の財源に充てるため、地方自治法の規定に基づき基金を設置するものです。

質疑 今後、当該基金の積立につ

いて、どのような計画を考えているか伺う。

答弁 今回5億円を積み立てるが、当面の目標として、10億円程度を目途に積み立てていきたいと考えている。



議案第57号 令和4年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）
 原案可決

この議案は、市営船「New松島」の原油価格高騰による燃料費及び中間検査時の修繕費について、予算を増額補正するものです。

質疑 原油価格高騰により、燃料費が約600万円増加しているが、今後も高騰の継続が予想される中、どのように対策していくのか。

答弁 燃料費のコスト削減は難しいが、定期点検等を的確に実施し、適切な運航を実施できるように努めたい。

産業建設常任委員会

審査件数

決算認定案 3件
 その他議案 1件

主な審査内容

議案第52号 令和3年度西海市水道事業会計決算の認定について
 認定

収益的収入及び支出

収入

9億5871万3522円

支出

9億7828万9439円

差引額

△1957万5917円

質疑 平均有収率が令和2年度と比較して減少しているが、その原因について伺う。

答弁 水道管の老朽化に加え、令和2年8月の大雨による水道管の破損に伴う漏水が大きな原因であると考えている。

議案第53号 令和3年度西海市工業用水道事業会計決算の認定について
 認定

収益的収入及び支出

収入

1億145万413円

支出

1億641万2104円

差引額

△496万1691円

質疑 電源開発(株)はGENESIS松島計画のための環境アセスメントを実施しているが、当該計画を見据え、老朽化した海底管路の整備について、どのように考えているのか伺う。

答弁 計画内容がある程度判明し、計画が進んだ段階で、協議を実施しながら、方向性を決めていく。

議案第59号 工事請負契約の締結について(森林基幹道西彼杵半島線災害復旧工事(3号箇所))
 原案可決

この議案は、昨年8月の豪雨により被災した森林基幹道西彼杵半島線の施設の保全と通行車両の安全の確保を図るため災害復旧工事を施工するもの。

質疑 指名競争入札の状況について伺う。

答弁 今回の工事の予定価格が1億5000万円を超えているので、西海市建設工事一般競争入札実施要領に基づき、共同企業体による制限付一般競争入札で行っている。

質疑 工期日程は。

答弁 全体工期は、おおよそ270日を見込んでいる。

厚生常任委員会

審査件数

条例案 1件
 決算認定案 3件
 補正予算案 2件

主な審査内容

議案第47号 令和3年度西海市国民健康保険特別会計決算認定について
 認定

この議案は、事業勘定と直診勘定の2つからなる令和3年度国民健康保険特別会計決算についての認定を行うものです。

質疑 直営の江島・平島・松島の3診療所の施設は老朽化しているが建替の計画はないのか。

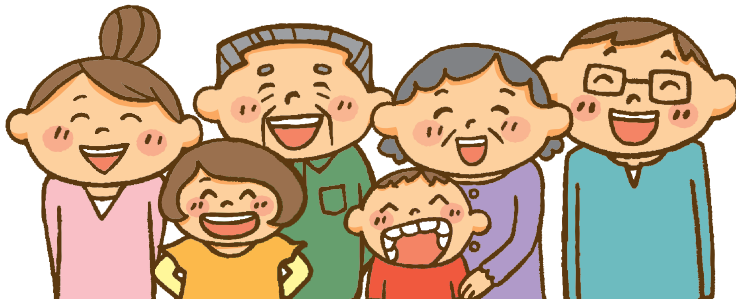
答弁 全ての施設が40年以上経過していることから、これまでも建替については検討してきたが、避難所や出張所など複合施設での整備を検討する意見もあることから、協議・調整に時間を要している。

議案第51号 令和3年度西海市介護保険特別会計決算認定について
 認定

この議案は、保険事業勘定と介護サービス事業勘定の2つからなる令和3年度介護保険特別会計決算についての認定を行うものです。

なお、審査の過程で介護サービス事業勘定の収支状況について、当該

事業勘定は、介護予防サービス計画費収入と前年度繰越金を財源として、年間約3900件の介護予防プラン作成を本市の介護支援専門員5名及び業務委託にて対応しており、本市で対応できない部分を業務委託している現状では介護予防サービス計画費収入の増額は見込めず、繰越金で財源調整を行っていることについて、委員からは安定的な事業運営を図るためにも人員の増加や一般会計からの繰入れによる財源確保が検討できないかとの意見がありました。



予算決算常任委員会

審査件数

補正予算案 1件

主な審査内容

議案第55号 令和4年度西海市一般会計補正予算（第4号）
 原案可決

補正額

14億6488万5000円

補正前

221億2695万2000円

補正後

235億9183万7000円

◎マイナンバー取得促進事業

マイナンバーカード取得促進のため、指定期間内に申請を行った方に地場産品を配布するもの。1221万円

質疑

市民と市職員のマイナンバーカードの取得率は。

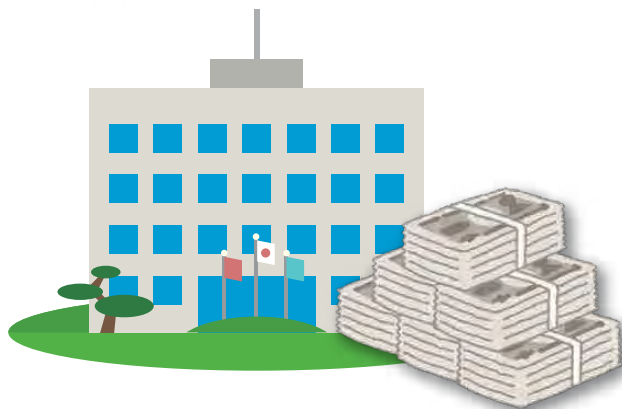
答弁 市民の令和4年8月末時点での交付率は47・07%で、市職員の令和4年6月末時点での交付率は申請中も含め78・7%となっている。



◎庁舎建設整備基金積立金

市庁舎建設整備の資金を確保するため、基金を積み立てるもの。5億円
質疑 どのような目標や計画を立てているのか。

答弁 庁舎建設にかかる事業費の参考として、合併市町村振興基金27・5億円、一般単独事業債14・8億円、一般財源5億円の合計47・3億円を算定しているが、場所によっては土地の買収費や造成費等の新たな経費も想定されることから、当面の目標として10億円を基金として積み立てる目標である。なお、本年度は歳入の見通しが立ったことから、5億円を基金として積み立てる予定である。



一般質問

今定例会で一般質問した議員は9人でした。



一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。
スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。

一般質問とは？



市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再質問を含む）の

持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名

質問事項

1.
荒木 吉登
議員

- ・新庁舎建設計画について
- ・農業用水の確保について
- ・外出における生活支援について

2.
瀧瀬 栄子
議員

- ・原油高騰・物価高騰に伴う支援について
- ・こども福祉医療費助成制度について
- ・会計年度任用職員の処遇改善について

3.
平野 直幸
議員

- ・西海市を代表する企業との連携について
- ・商店の無い地域への買い物支援策について

4.
渡辺 督郎
議員

- ・集会所等整備事業費補助金について
- ・雪浦地区の景観整備について
- ・下水道におけるリン資源化について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について

5.
平井 満洋
議員

- ・公衆用トイレの洋式化について
- ・松島架橋について
- ・第2次西海市総合計画における人口30,000人の目標について

順番・氏名

質問事項

6.
田川 正毅
議員

- ・I R導入に伴う西海市の振興について

7.
打田 清
議員

- ・国道と県道の管理状況について
- ・市道の管理状況について
- ・職員の勤務態度について

8.
戸浦 善彦
議員

- ・西海市沿岸の海上における事故対応について
- ・旧長崎オランダ村Cゾーンについて
- ・平島の活性化について
- ・学級担任の年度途中交代への対応について

9.
杉山 誠治
議員

- ・火災等への対応について





あら き よし と
荒木 吉登 議員



新庁舎建設計画について

問 現庁舎は、防災面や分庁方式による利便性の低下など、多くの課題が存在したままである。防災拠点機能や統合した本庁機能を備えた新庁舎の建設は急務と考えるが、新庁舎建設の意向を明確にした上で、建設に向けたロードマップを示す考えはないか伺う。

市長 新庁舎建設整備については、これからの自治体DXの進展、市民の意向を確認した上で、新庁舎のあり方と具体的ロードマップを検討すべきと考えているが、庁舎の老朽化は年々進み、整備を行うには多額の一般財源が必要となることから、将来の庁舎建設整備に係る財源の確保を図っていく。

農業用水の確保について

問 近年、気候変動の影響等により、農業用水の確保に苦慮している農地は少なくない。既に水不足が顕在化している西彼町白似田地区で

は、水の確保は、重要な課題となっている。持続可能な農業の展開、地元後継者及び新規就農者の定着を図るためにも、農業用水の確保は必要不可欠である。当該地区や同様な農地に対して、貯水池整備等の事業支援ができないか伺う。

市長 現在、市単独の農地等整備工事費補助金での農業用ため池の造成や補修のほか、用排水路の新設、補修等への支援や、県の補助事業での干害応急対策事業では、干ばつ被害時の応急対策として、水路の新設やボーリングの掘削等に対する支援制度がある。今後、農業用水の確保が課題となっている地域との情報共有を図りながら、必要な支援を行っていく。

外出における生活支援について

問 高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境及び返納後の自立した生活支援のため、シニアカーの新規購入に要する経費の一部を補助する制度を創設する考えはないか伺う。

市長 シニアカーの普及は高齢者の自立した生活の推進に資するものであり、介護費や医療費の抑制にも有効であることから、来年度予算化に向けて検討していく。



ふち せ い こ
瀧瀬 栄子 議員



物価高騰対策として社協の配食サービスに食材費購入補助ができないか

問 食事の提供と安否確認を目的とした社協の配食サービスが令和4年8月1日から1食あたり50円値上がりしている。食材購入費を補助し利用者の負担を軽減できないか。

市長 現時点では配食サービスは支援対象となっていないが、今後原油価格や物価の動向を注視し、国による財政措置の状況を見ながら、支援を検討していく。

こども福祉医療費助成における現物給付の対象を広げられないか

問 令和4年4月1日から西海市、長与町及び時津町内の医療機関に限り現物給付となったが、長崎市と佐世保市の医療機関も来年度から対象にできないか。

市長 こども福祉医療費の受診動向は、令和3年度実績で約6割が長崎市及び佐世保市内の医療機関を受診している。各医師会等関係団体と

の協議や財源確保等の検討を進める。



図書館の会計年度任用職員に対する未払い賃金について

問 なぜ未払い賃金が発生したのか。

教育長 会計年度任用職員が1人で勤務する場合があり、休憩時間なしで勤務した部分に、支給すべき時間外勤務手当を支給していなかった。当該職員から「未払い賃金請求書」が郵送されたことで、問題を認識した。図書館のほか崎戸歴史民俗資料館及び社会教育指導員、合わせて21名で総額約209万円の未支給が明らかになった。

問 今後の対応はどうするのか。
教育長 まずは未支給分の支払いを進める。休憩時間の確保は早急に対応すべきだが、1人勤務を解消するための増員は難しいため、9月1日より、11時30分から12時30分まで1時間を休館とする判断とした。



ひらの なおゆき
平野 直幸
議員



市内企業3社と連携を 定期的意見交換の実施を

問 西海市の地域振興において、市を代表する企業の株式会社大島造船所、電源開発株式会社松島火力発電所、ダイヤソルト株式会社の3社の事業活動の安定と雇用の維持・発展は重要である。市が良好な連携協力関係を保つため、定期的に意見交換を実施する必要があると考えるがどうか。

市長 大島地区工業団地整備事業は令和4年度の完成を見込んでいる。今後、企業誘致による雇用の確保に向けて、市内高校生を対象とした「企業説明会」の活用、通勤圏内の大学や高等学校への企業説明会、造船関連産業と地元企業のマッチングなど、誘致企業と連携しながら進めたい。

電源開発株式会社の新技術導入による事業は、令和6年に着工し、令和8年度内に運転開始をめざしている。今後、地域住民、商工会などとの意見交換を行い、発電事業者との調整役として、積極的に協力して行き

たい。

ダイヤソルト株式会社との連携関係は、水道
原水の確保
の面で、継
続した連携
が必要と考
える。人口
減少の著し
い崎戸地区
では同社の
存在は大き
く、地域活
性化の面か
らもより協
力体制を強
めたい。



完成が近い大島地区工業団地

商店の無い集落の買い物支援は 実態調査を基に早く構築を

問 「買い物物ができない集落」は、人口減少が加速し、限界集落化する恐れがある。実態調査等を基に買い物支援策を立てる必要があると思うがどうか。

市長 市として、商工会、社会福祉協議会と連携協力し、実態調査を行ったうえで、市内をエリア分けし、各スーパー等へ訪問販売への協力を打診する。販売車の購入や運行経費の支援については、令和5年度予算に計上すべく検討する。

集会所等整備事業費補助金 について



わたなべ たくろう
渡辺 督郎
議員



問 集会所等の整備には、西海市集会所等整備事業費補助金が交付され、補助金額は限度額が設定されている。整備予定の自治体では資材価格の高騰により、地元負担額が増加し大変苦慮している。物価高騰の緊急対策として、補助限度額を引き上げるなど、地元負担額の増加を抑える措置ができないか伺う。

市長 近年、自然災害が多発する中、集会所の防災機能の強化のため、防災目的の施設整備や修繕に要する費用を新たな補助メニューとして追加した。物価の上昇が、現に市民生活にも見られることを鑑みると、集会所等整備事業費補助金の制度設計の見直しの時期と認識している。補助限度額を含めて、建設資材価格や工賃等の推移を精査し、制度見直しを検討する。



新型コロナウイルス感染症対策 について

問 第7波は、猛烈な勢いで拡大している。本市でも連日50人前後の感染者が出ていることから、市民に不安が広がっている。市のウェブサイトににおいて、発生状況や発熱などの症状がある場合の相談方法など、各種の関連情報が掲載されているが、探しにくい状況となっていることから、わかりやすく掲載できないか伺う。

市長 トップページにバナーを設けて、必要な情報が掲載されていることを瞬間的に読み取ることのできる掲載方法に変更した。



問 感染者数の推移が一目でわかるような掲載ができないか伺う。

市長 感染者数の推移のわかるようグラフを掲載するなど、視覚的に感染者数の増減が把握できるよう見直しを行った。

問 旧町別の感染者数の公表を県に働きかけ、市のウェブサイトに掲載出来ないか伺う。

市長 県として、個人の人權の尊重のため市内各町別の公表資料は出さない方針であり、私も同様の考えである。



ひらい みつひろ
平井 満洋 議員



公衆トイレの洋式化について

問 市内の公共施設のトイレの洋式化への改善状況について伺う。

市長 平成29年第3回定例市議会以降、利用者の多い施設を優先に整備を進めてきた。具体的には、公立公民館、スポーツ施設、庁舎など、計17の施設で改善を図っており、令和3年度末の現在の洋式トイレの数は、前回報告時から74基増の351基となっている。市内公共施設の男性用小便器を除くトイレの総数は、用途廃止や解体、洋式化に伴い設置スペースの関係で削減した施設など前回報告時から33基減の656基で、洋式トイレの全体に占める割合は、53・3%となっている。

松島架橋について

問 電源開発株式会社のGENE S I S松島計画が発表されるなど、架橋を取り巻く状況は幾分好転しているとの認識しているとの答弁が過去にあったが、この状況を捉えて、架

橋の早期実現に向けた強力な取組が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

市長 去る6月に開催された全国離島振興協議会総会において、離島振興法の改正・延長について本年度の重点事項として可決され、国や国会議員への要望活動を行ってきた。同協議会では、一部離島分科会の協議の中で、私から「架橋促進」の重要性を提案さ



令和3年度 松島架橋をテーマとした
こども絵画コンテスト作品展示会

せていただき、今回の離島振興法改正・延長の実現に関する特別要望書の中でも、「交通条件の改善」という項目で、「離島架橋の整備促進」を重点事項として明記していただいた。これは大きな前進と捉えており、離島振興法改正と併せて策定される長崎県離島振興計画の中にも、松島架橋について、しっかりと位置づけていきたいと考えている。

また、電源開発株式会社のGENE S I S松島計画についても、庁内の関係部署が連携し、情報の共有や同社からの相談を受けている。今後とも国や県などに松島架橋について粘り強く要望していきたい。



たがわ まさき
田川 正毅 議員



IR(カジノリゾート)導入に伴う 西海市の振興について

問 平成30年7月に特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)が成立した。佐世保市ハウステンボスへの認可も現実性を帯びてきているなか、西海市における経済波及効果と振興策について伺う。

市長 県とKYUSHURIゾートジャパンによる整備計画案では、建設部門で5428億、運営部門で年間3328億円の波及効果が見込まれている。今年秋に認可された場合、令和6年工事着工、令和9年中に工事完了とされている。また、周辺の公共工事も計画されており、開業から5年目にはIR区域への来訪者数840万人・来訪者による区域滞在中の支出金額は2621億円とされている。

また、隣接区域では年間3千億円を超える経済波及効果が見込まれる。本市としても専門部署の設置が必要と考えている。



問 IR整備計画(案)では区域内雇用者数を9693人と見込んでいるため、近隣市町においても数千規模の雇用者の居住区の整備が必要と考えるが市長の考えを伺う。

市長 関係機関等からの情報によれば、必要な従業員住宅は5千人程度とされ、佐世保市を含めまとまった土地がなく、また、交通渋滞対策や、グレードの高い住宅が求められているとのことだが、定住促進の面で大変魅力的な事業であるため、今年の秋と予想される認定に向け、県や関係自治体、地域経済界や民間の動きに注視しながら情報収集等に当たる。



うち だ 清 議員
きよし



国道と県道の管理状況について

問 安全な通行や景観確保に向け、県とどのような協議を行ったのか伺う。

市長 西海市行政区長連絡協議会などからも要望があつており、その都度、県に発注状況の確認や早期発注のお願いをするとともに、通報があつた箇所の対応依頼を行うなど、市民の声を伝えている。

問 除草剤による除草作業をやっているが、除草剤散布後の立ち枯れ状態について、見た目が悪いとの声があるが、県に伝えたことはないか伺う。

建設部長 その様な意見は直接聞いたことはないが、立ち枯れ状態というのは如何かと思うため県に伝える。

市道の管理について

問 台風などによる大雨災害等により路肩の崩落も考えられることから、軽微な道路の損傷箇所の把握はできているのか伺う。

市長 建設課職員や作業員8名による道路等管理施設のパトロールや市民などからの情報提供により現場の把握を行っている。調査の結果、早急な対応が必要なもののうち、軽微な箇所は建設課作業員で行い、それ以外は、市内業者等に依頼している。



職員の勤務態度について

問 市民から「市役所に行っても職員の挨拶がない。目が合っても何も言ってもらえない。」などの意見が寄せられている。本市では外部研修のほか、職場における育成も行っているが、どのような目標設定で取り組んでいるのか伺う。

市長 業務を通じて行うことが最も効果的であるという観点から、OJTを人材育成の中心に据えて職員の能力育成を実施している。個々の職員に応じて目的と方法を明確にしながら取り組んでいる。

西海市沿岸海上の事故対応対策について



と う ら よ し ひ こ
戸 浦 善 彦 議員



問 近年、本市沿岸では往来する船舶の座礁や護岸衝突事故が相次いで発生している。事故船舶からの燃料オイルや船具の流出などにより、関係漁業者や地域住民は大変困惑していることから、同様な事故等が発生した際、市として何らかの緊急的対応ができないか伺う。

市長 緊急的な対応として、市や県が所有する吸着マット等の活用のほか、市内漁協に協力を求め、防除資材を活用することで、漁場への被害を最小限にとどめる。



旧船番所跡に衝突した遊漁船(西海町寄船)

島の活性化について

問 市は、オイルフェンスなどは、常備しているのか？

総務部長 吸着マットは常備しているが、オイルフェンスはストックがなく、今後整備する予定である。

問 平島には、宿泊施設が無いため、家屋や船舶等の修理等を行う際、島民や仕事の依頼を受けた島外の市内業者等も、大変困っている。そこで、市営船はやての活用や地域おこし協力隊による宿泊施設の運営、公共施設の利活用など、島の活性化につながる対応ができないか伺う。

市長 地域の方々のニーズや意見を伺いながら、地域おこし協力隊などを含めた運営事業者の掘り起こしや、島内で利活用できる物件の調査などを行い、マッチングができるよう働きかけを行っていく。

他の質問

●旧長崎オランダ村Cゾーンの海上デツキ部分が崩壊し、被害防止のためフェンス等を海上に設置しているが、漁業関係者や地域住民は不安を感じていることから、今後の対策を伺う。

●近年、学校現場において、学級担任の年度途中交代により、児童が困惑していることから、市として何らかのサポートができないか伺う。



すぎやま せいじ
杉山 誠治
議員



火災等への対応について

問 火災発生時の初期消火活動では、地元消防団員の活動が重要と考えるが、平日昼間の時間帯の火災では、思うように参集できないケースも想定される。市長は、本年第1回定例市議会での所信表明において、また、第2回定例市議会での同僚議員の一般質問に対して、機能別消防団員制度の導入に向け準備を進める考えを示しているが、迅速な初期消火作業を支援する仕組みの一つとしても、この制度を活用できるのか。また、活用する場合、どのような運用が考えられるか伺う。

市長 現在、複数の分団に活動を

要請することで対応している。機能別消防団員制度の活用事例には、消防団OBの経験豊富な知識と技能を生かして、可能な範囲で消防団活動に携わるものもあり、基本団員の活動を補助し、あるいは後方支援的な活動を担うことが期待される。この機能別消防団員制度については、年度末までには制度化し、来年度以降、

運用できるように準備を進めている。

問 消防車、救急車等の緊急車両が出動した際、道路状況によっては、現場到着に時間を要することがある。令和4年第1回定例市議会では、同僚議員が、最新の位置及び道路状況等の情報を迅速に把握できるように、アプリ導入の取組について質問したところ、現在、西海クリエイティブカンパニーが開発中との答弁であったが、現段階での開発の進捗状況及び供用開始の見込みについて伺う。

市長

アプリの開発状況について同社に確認したところ、スマートフォンの等で撮影した写真を送信すると地図上に位置情報が表示される機能部分は既に開発しているが、この機能を業務で活用するには、さらなるプログラム開発が必要とのことであった。また、収集した情報の精査や管理の問題もあることから、効率的で確かな運用に向け、十分精査し、検討していく。



厚生常任委員会 所管事務調査報告

調査事件

西海市における医療と介護の連携の取組みについて

調査日

令和4年2月10日(木)・5月11日(水)・6月17日(金)・8月25日(木)

経過

令和3年第4回定例会の一般質問での認知症患者を抱える世帯に対する支援の質疑を受けて、介護保険と地域包括支援センターにおける役割、医療と介護の連携など医療提供に関する諸課題及び地域医療を守るための市の役割について、関係資料に基づき調査を行うとともに、市内の老人福祉施設の現状を把握するため西海市福祉施設連絡協議会に書面で調査を行った。

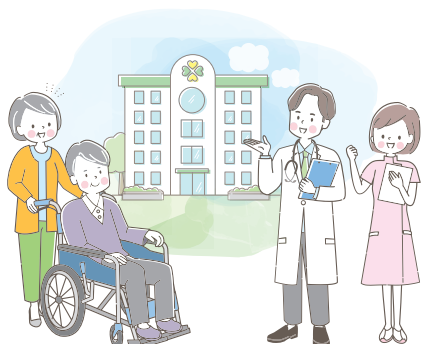
調査概要

介護部門では、要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域の中で助け合う地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。

また、医療分野では、在宅医療体制の構築を図るため、西海市医療機関新開設継承補助事業に加え、令和4年度から在宅医療体制整備補助事業を開始している。

まとめ

本市では、医療と介護の連携、地域包括システムの構築強化を重要政策として位置づけ、令和4年4月から困難を持つあらゆる人を地域で支えるための仕組みとなる福祉の各分野の縦割りを超えた総合的な相談支援体制のため、市保健福祉部を4課体制に改編し、各種事業の更なる推進を目指しているが、西海市福祉施設連絡協議会からは、「医療と介護の連携は必要不可欠であるが、関係従事者の人材確保と育成が課題である」と指摘されるなど、人材確保が喫緊の課題であることが浮き彫りとなったことから、人材の育成・確保のための総合的な施策についても講じるよう要望する。



令和4年 第2回議会臨時会

会期
令和4年7月25日（1日間）
臨時会の概要

第2回臨時会は、7月25日の1日間で開会されました。

この臨時会では、4議案が提出され、いずれも各常任委員会に付託されて、慎重に審査されました。（12、13ページ参照）

委員会審査終了後に再開された本会議では、4議案に係る各常任委員長の審査報告、各常任委員長報告に対する質疑が行われ、議案第38号、議案第39号、議案第40号はいずれも簡易採決で原案可決となりましたが、議案第41号「西海市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、賛成、反対討論があり、起立採決により原案可決となりました。

この議案第41号は、本年3月に発覚したふるさと納税ワンストップ特例制度に係る事務遺漏及び職員による西海ふるさと便事業の不正利用事案の発生を踏まえ、市長及び副市長の管理監督責任を明らかにするため、それぞれ本年8月及び9月に支給される給料から、月ごとにそれぞれ

れ10%を減額とする内容です。

簡易採決：…異議の有無を確認する方法（全員同じ意見になると思われる場合に行う）

起立採決：…討論があつた場合、賛成者を起立させることによって、多数決をとる方法

討論

反対

現時点にて職員による西海ふるさと便事業の不正利用事案の全容解明には至っておらず、対象職員の処分もなされていない現状では、提出議案の内容が適正であるか判断しかねることから、全容解明後に改めて提出すべき議案と考え反対する。

賛成

全容解明後に提出すべき議案であると思うが、全容解明には非常に時間がかかる中で、市民・利用者・生産者に対する謝罪の意も込められていることから、妥当と判断し賛成する。

賛成

今回の議案は、現時点における市長の決断と理解するものであり、職員による西海ふるさと便事業の不正利用事案の全容解明後の状況によつては、市長自ら更なる処分の議案を提出することもできることから、賛成する。

総務文教常任委員会

議案第41号 西海市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、ふるさと納税ワンストップ特例制度に係る事務遺漏により400名を超える寄附者の方において同制度の利用ができない事態となったことの重大性や、職員自身が西海ふるさと便の制度を悪用して利益を得ていたという市民の信頼を裏切るような行為の性質を考慮し、かつ、今後のふるさと西海応援寄附金や西海ふるさと便事業の信頼回復に資するため、早期の条例改正が必要であるものと判断したものです。



産業建設常任委員会

議案第40号 定外公共境界確定請求事件に関する訴えの提起について
原案可決

この議案は、令和4年第1回臨時会で議決されている工作物収去等請求事件に関連し、当該事件に係る対象物件となる西海市の法定外公共物である里道について、その敷地に隣

接する土地との境界確定を併せて請求しようとするものです。

厚生常任委員会

議案第39号 令和4年度西海市介護保険特別会計補正予算（第1号）
原案可決

この議案は、保険事業勘定の既存の予算に19万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を35億8608万8000円とするもので、補正の主な内容は、地域包括支援システム更新に伴うもので、財源は保険料、国庫支出金、県支出金及び一般会計繰入金により調整するものです。

また、介護サービス事業勘定は、既存の予算に5万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1880万8000円とするもので、補正の主な内容は、地域包括支援システム更新に伴うもので、財源はサービス収入により調整するものです。



予算決算常任委員会
議案第38号 令和4年度西海市一般会
計補正予算（第3号） 原案可決

この議案は、既存の予算に1億8558万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額を221億2695万2000円とするものです。補正の主な内容は、コロナ禍において世界情勢などで原油価格・物価高騰により影響を受けた市民生活や地域産業への緊急対策として、福祉・医療分野や農林水産業などへの原油価格・物価高騰緊急支援事業を計上するほか、コロナ禍による宿泊者の減少が続く中、宿泊客の増加やピーターの確保を図るため、市内宿泊業の夕食に本市の特産品を使用してグリードアップする経費を補助する西海市内宿泊誘客補助事業などを計上するものです。また、歳入では、原油価格・物価高騰緊急支援事業などの財源として、国庫補助金のほか、地域振興基金繰入金及び財政調整基金繰入金の増額を計上するものです。



※予算決算常任委員会の審査の様子

令和4年第2回臨時会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
議案第38号	令和4年度西海市一般会計補正予算（第3号）	予算決算	原案可決
議案第39号	令和4年度西海市介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第40号	法定外公共物境界確定請求事件に関する訴えの提起について	産業建設	原案可決
議案第41号	西海市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決

市議会からのお知らせ

市議会提出議案を西海市HPで閲覧できます!!

- ホームから【組織から探す】→【総務課】→【市政・まちづくり】→【市の政策】→【行政・政策】→【市議会提出議案】
- または、ホームのキーワードで探す「市議会提出議案」で検索。
- 右のQRコードからも開くことができます。



西海市議会に関する各種情報を公開しています。

●議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）を行っています。市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧いただけます。ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2～3週間程度でご覧いただけます。



●議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。



●西海市議会の本会議を傍聴できます。

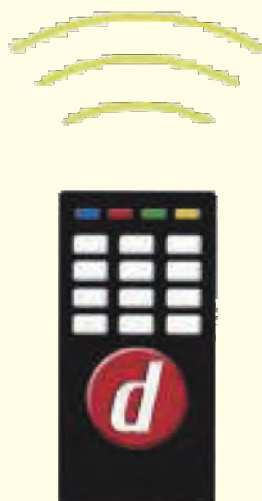
西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1：場所／本会議場（西海市役所本庁舎3階）
- 2：人数／60人まで（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴人を制限する場合があります。）
- 3：受付場所／本会議場前傍聴受付
 - ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
 - ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！

地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見る事ができます。長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。（実施している他自治体の情報も閲覧可能）配信時のアクセス集中による通信障害の心配

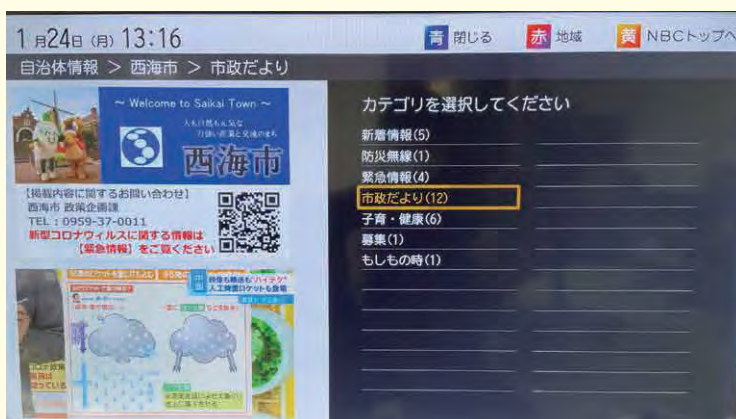
もありません。7項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。ぜひ活用ください。



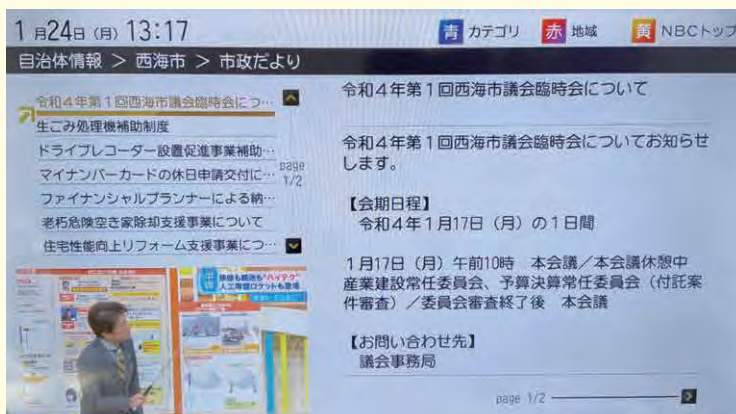
①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押す



②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択



③「市政だより」を選択



④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される



「空き家は未来を変える」

西海市立西海中学校

三年 俣野 ずずか

近年、日本は深刻な少子高齢化に伴い空き家問題が多発しています。そしてそれは私達の故郷である西海市も同じです。実際、私が小さい頃は人が住んでいた家も、今では空き家になり緑に飲み込まれつつあります。

このような空き家をどのように『再利用』するかというのが大きな課題になってくると思います。例えば、私の近所では、古民家を改築したおしゃれなカフェがあります。これも『再利用』の一つの例です。しかも、その店では他県ナンバーの車をよく目にしますし、今までより心なしか車通りも多くなった気が

します。

私は、どのように『再利用』するかを述べましたが「壊すというのはダメなのか」と思う方もいると思います。もちろん壊して新しいものを作るのも一つの手ではあると思います。しかし、壊すには土地主または家主の負担がとて大きくなくなってしまし、費用の一部または全額を市が負担するととなると、家主側は喜ぶでしょうが、それではいくら予算があっても足りません。なので、「壊す」というよりは「活かす」という考えの方が良いと私は思います。そのためには『再利用』のレパトリを増やしていかなければなりません。例えば、カフェや雑貨屋など王道のものから、伝統工芸品の工房やワークショップスペースなど、一風変わったものでもアイデアとしては良いのではないのでしょうか。

ここまで考えてきたように空き家問題とは考え方によつてはいくらかでも「地域を活かす材料」にすることができますが、タイ

ミングを間違えると、一気に深刻化する問題でもあります。そのため、早期に手を打つ必要があるのです。私はより多くの人に西海市の魅力を知ってもらい、より多くの人に西海市を訪れてほしいです。西海市をより住みやすく、より親しみやすい観光地にしてくれる大きな可能性が、この空き家問題には秘められてると、私は思っています。



祝 10周年記念 西海市立西海中学校 2022年度撮影
撮影：(株)ユニオン・エンタープライズ



祝 10周年記念 西海市立西海中学校 2022年度撮影
撮影：(株)ユニオン・エンタープライズ



令和4年8月 No.66

※読者のご意見をより忠実に伝えするため、誤字の修正と句読点の打ち替えのみを行っております。

市議会の内容がよくわかり、身近に感じるとともに西海市のことが理解できます。今後も議員の皆様、西海市を守り、発展させてほしいです。
(大島町 60代女性)

大崎小学校の子どもたちは、元気で礼儀正しく気持ちがよいです。これからもすくすく育てほしいと願っております。いつも楽しく読ませていただいております。
(大島町 80代女性)



定例会では、議員の方々が西海市におけるいろんな事柄について市民のためにいろいろと協議してくださっていることがよくわかりました。これからもがんばってください。応援しています。
(西彼町 50代男性)



わかりやすく書いてあり、読みやすく、良かったと思います。
(西彼町 60代男性)

一般質問も動画で視聴できて、実際どんなやり取りがされているのかを知れてよかったです。
(西海市 30代女性)



農業後継者不足なので農業研修をして移住者を増やしてほしい。
(西彼町 50代女性)



いつもありがとうございます。編集後記を読み、就寝時に聞こえてくるカエルや虫

ます。

の鳴き声を思い浮かべました。ただ、夜間に時折聞こえるバイクをふかす音だけは決断していい音とは思えません。
(西海市 30代男性)



市政がよくわかるので毎日読むのが楽しみです。
(大島町 40代女性)

郵便はがき

8572392

郵送される場合は63円切手を貼って下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第67号)



裏表紙に西海市議会クイズがあるよ！議会だよりをよく読んで解答してね！



第23回西海市議会クイズ

(1) 令和4年第3回議会定例会の会期は何日？

① 29日

② 25日

③ 21日

(2) 市政一般質問を行った議員は何人？

① 6人

② 12人

③ 9人

(3) 令和4年度西海市一般会計補正予算(第4号)の議案番号は？

① 議案第49号

② 議案第46号

③ 議案第55号

(4) 議会広報広聴委員会の構成人数は？

① 7人

② 6人

③ 5人

応募方法

はがき、FAX、メール、入力フォームにて、住所・氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

※はがきは、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へ提出いただけます。

応募先

〒857-2392

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸

戸瀬浦郷222番地

〈FAX〉

0959-37-0226まで

〈メール〉

rikai@city.sakai.lg.jp

〈入力フォーム〉スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き、応募ができます。



締切

令和4年12月9日(金)消印有効(9日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

〔個人情報取り扱いについて〕
ご記入いただきました個人情報(住所、氏名、年齢、商品発送などの目的以外には利用いたしません。)

第22回西海市議会クイズ解答

(1)① (3)①
(2)② (4)①

応募総数16名(正解者13名)

編集後記

「魅力と期待が高まるふるさと納税」
今回は、閉会中の継続審査として、令和3年度的一般会計決算認定の審査を行いました。その中で、「ふるさと西海応援寄附金」の内容が説明されました。3年前となる平成30年度のふるさと納税の実績額は約6千7百万円で、返礼品の登録品目数は142品目でしたが、令和3年度の実績は登録品目数は1738品目となっており、令和3年度は、行政のアイデア及び市内の事業に携わる皆さまが人気の商品として磨き上げたため努力のお蔭と感じました。合併算定替えの為、徐々に交付金が減少する中、貴重な財源にもなっており、更なる西海市の発展につながってほしいと願います。

(朝長 隆洋 委員)



議会広報広聴委員会

第23回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

ふりがな

氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。



議会だより

No.67

令和4年
11月7日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。